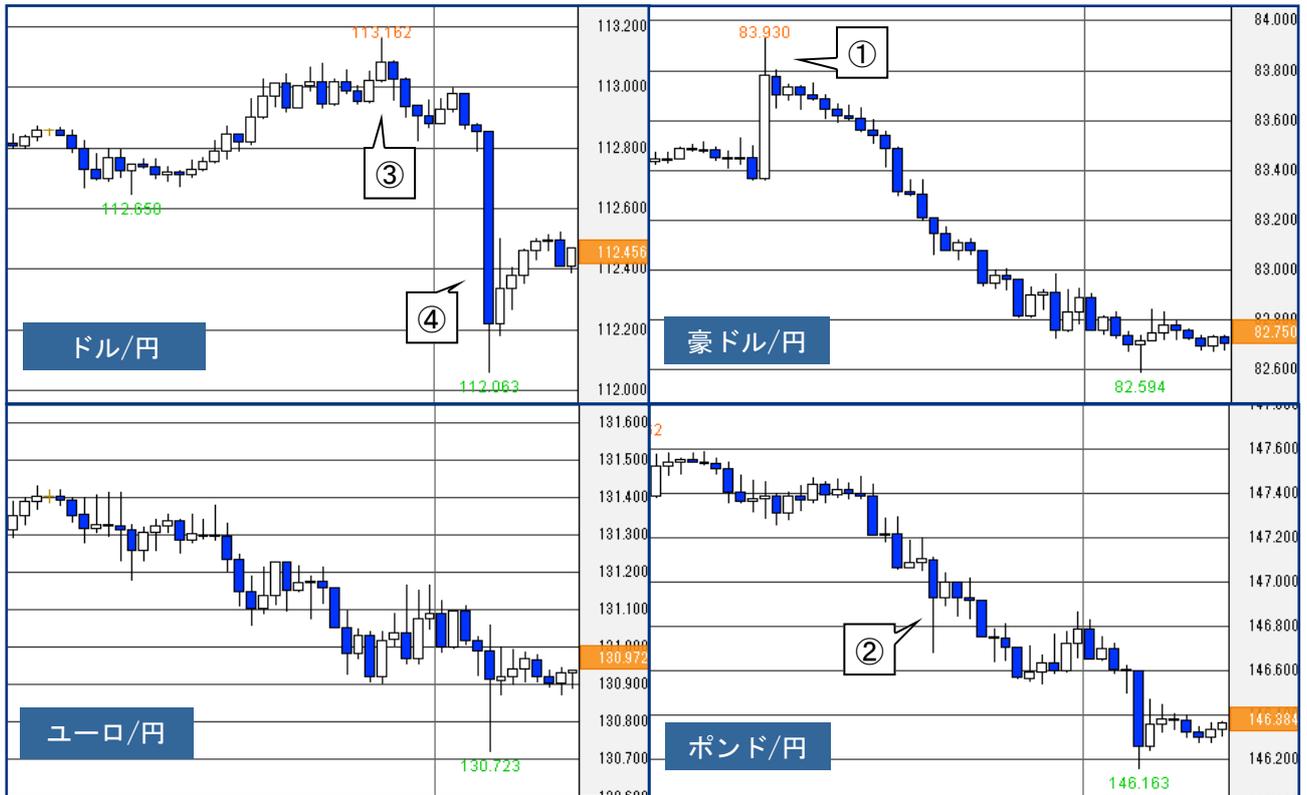


7月20日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

米大統領のドル安誘導発言の真意は？

19日(木)の為替相場



期間：19日(木)午前6時10分～20日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪6月雇用統計は、新規雇用者数が5.09万人増となり市場予想(1.65万人増)を大幅に上回った。内訳では正規雇用者が4.12万人増と大幅に増えていた事も判明。失業率は前月と同じ5.4%で、予想どおりの結果であったが、労働参加率が65.7%と前月から0.2ポイント上昇する中での失業率の横ばいは好結果と受け止められた。これを受けて、豪ドル/円は一時83.90円台へと上伸した。ただ、その後は、人民元安の影響もあってドルが全般的に強含む中、豪ドル/米ドルの下落が重しとなり、豪ドル/円も失速した。
- ② 英6月小売売上高指数が前月比-0.5%となり、予想(+0.2%)に反して減少した事を受けて一時ポンド売りが強まった。
- ③ 米新規失業保険申請件数は20.7万件と、市場予想(22.0万件)を下回り、前週の21.5万件から改善。また、米7月フィラデルフィア連銀製造業景気指数も25.7と、前回(19.9)から改善して予想(21.5)を上回った。これを受けてドル買いが強まるとドル/円は113.16円前後まで上値を伸ばして1月9日以来の高値を付けた。
- ④ トランプ米大統領が「利上げは喜ばしくない」「人民元は石のように転げ落ちている」「ドルの上昇は米国を不利な立場に置く」などと発言すると、ドルが急落。ドル/円は一時112.06円前後まで下値を切り下げた。ただ、その後ホワイトハウスが声明を発表し、「大統領は連邦準備制度理事会(FRB)の独立性を尊重しており、FRBの政策決定に干渉しない」と釈明すると、ドルは下げ幅を縮小した。

19日(木)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22764.68 ▼29.51	6262.700 △17.589	2772.545 ▼14.712	7683.97 △7.69	12686.29 ▼79.65
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25064.50 ▼134.79	0.0420% ▼0.0030	2.657% △0.022	1.185% ▼0.041	0.330% ▼0.012
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5907% ▼0.0185	2.8380% ▼0.0312	69.46 △0.70	1224.00 ▼3.90	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.900-112.900	130.500-131.800	82.300-83.400	145.600-147.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は、一時113.16円前後まで上昇して約半年ぶりの高値を更新したが、NY市場ではトランプ米大統領が「ドルの上昇は米国を不利な立場に置く」と述べた事で112.06円前後まで急落するなど、不安定な相場展開となった。米最高権力者の発言だけに、当面はドルの動きに一定の影響が残る可能性もある。ただ、トランプ大統領の発言は人民元安に対する批判の意味合いが強いようだ。通商交渉が思い通りに進まない事への苛立ちが、場当たりの発言に繋がったのかもしれない。この発言に絡み大統領が「利上げは喜ばしくない」と述べた事に対し、ホワイトハウスが火消しに動くドルが買い戻された動きから見ても、米政権が本気でドル安誘導に動くとは市場も考えていないようだ。現時点では、昨日のドルの下落は調整の一環と見るのが妥当だろう。

執筆者: 神田

本日から明朝の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/20(金)	15:00		(独) 6月生産者物価指数(前月比)	+0.5%	+0.3%
	17:00		(ユーロ圏) 5月経常収支	+284億ユーロ	-
	21:20		(米) ブラード・セントルイス連銀総裁、講演	-	-
7/21(土)	-		G20財務相・中央銀行総裁会議(ブエノスアイレス~22日)	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。
Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com